



【ゼミ生が作るゼミ紹介冊子】

國學院大學 経済学部
令和7年度開講 「演習Ⅰ」
経済学会学生委員会



＜目次＞

I. ゼミ個別ブース相談会について 3

1. 日時・場所 3

2. ゼミ個別ブースへ参加するまでの流れ 3

3. 当日の注意事項 3

4. ゼミ個別ブースのイメージ 3

5. 参加ゼミ一覧 4

II. お知らせ 5

III. ゼミ紹介 6

I. ゼミ個別ブース相談会について

1. 日時・場所

- 5月7日(水) 12:00～16:30
- 5月9日(金) 12:00～16:30

※両日とも教室を使用し、対面で開催します。休憩時間は各ゼミによって異なります。
教室にて確認をお願いいたします。

※参加するゼミと時間帯、教室は2日前の5月5日(月)までに基礎演習 LINE グループを通じて連絡します。

2. ゼミ個別ブース相談会へ参加するまでの流れ

1. 1年次の基礎演習 LINE グループと教務課からのメールで当日の参加ゼミと時間帯、教室配置表が届く。
2. 参加したいゼミのブースがある教室に移動する。
3. 相談し終わったら、次に気になるブース（教室）に移動する。
4. 相談会の時間内で2～3の手順を繰り返す。

3. 当日の注意事項

- 1つのゼミに人数が集中した場合、すぐに入室できない可能性があります。
※他のゼミを訪問してみてください。新たな発見があるかもしれません。
- 1ゼミあたり20分を目安にし、多くのゼミを見学して比較しましょう。
- ブースにいる先輩ゼミ生に積極的に質問してみましょう。
- 当日は、他の教室では授業が行われています。他の授業の妨げにならないよう以下のルールを必ず守ってください。
 - ① ブース内での会話のボリュームに気を付けること
 - ② ブース外での友達同士の会話は最小限とすること
 - ③ 廊下に滞留しないこと

4. ゼミ個別ブースのイメージ

- 1教室に2～3ゼミがブースを作っています。
- 各ゼミの教室配置は、1年次に使用していた基礎演習のLINEとK-SMAPY IIを通じて（教務課からのメールで）連絡します。

5. 参加ゼミ一覧

ゼミ名	7日(水)	9日(金)
大西ゼミ	○	×
小木曾ゼミ	×	×
尾近ゼミ	○	○
尾崎ゼミ	○	○
尾田ゼミ	×	×
小野ゼミ	○	○
木村ゼミ	○	○※14:30～15:30のみ
齊藤ゼミ	×	×
櫻井ゼミ	○※12:00～15:00のみ	○※12:00～15:00のみ
東海林ゼミ	○	○
杉山ゼミ	×	○※13:00～16:30のみ
鈴木ゼミ	○※12:00～13:00のみ	○※14:30～15:30のみ
高木ゼミ	×	×
高橋(克)ゼミ	○	○※14:30～16:00のみ
田原ゼミ	○	○
中馬ゼミ	○	○
手塚ゼミ	○	○※12:00～16:00のみ
中泉ゼミ	×	×
中田ゼミ	○	○
根岸ゼミ	○	○
芳賀ゼミ	○	○
濱田ゼミ	○	○
林ゼミ	○※13:00～16:30のみ	○※13:00～16:30のみ
藤山ゼミ	○	○
星野ゼミ	○	○※12:00～15:30のみ
細井ゼミ	○	○
細谷ゼミ	○	×
水無田ゼミ	○	○※15:00～16:30のみ
宮下ゼミ	○	○
山本ゼミ	×	○
吉野ゼミ	○	×

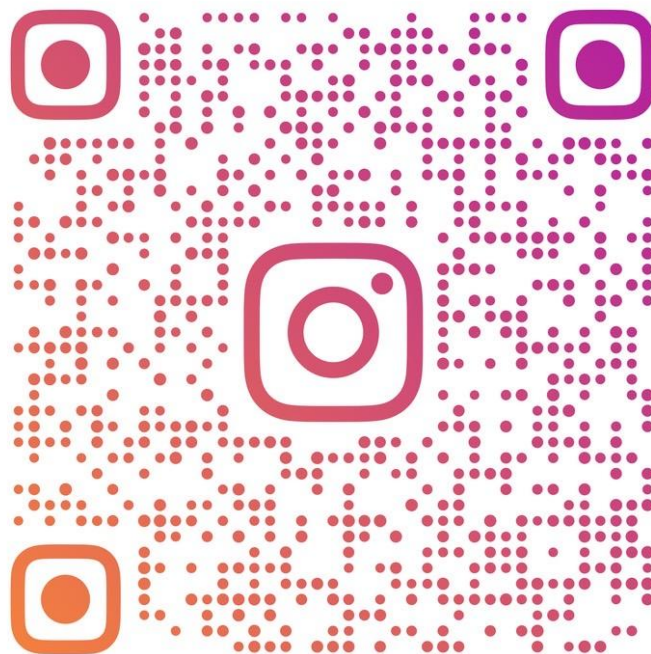
Ⅱ. お知らせ

経済学会学生委員会の公式 Instagram で随時情報を発信しています！

(5 月 1 日から各ゼミの紹介動画・画像を配信予定です)

公式 Instagram

@kgu_gakusei



KGU_GAKUSEI

Ⅲ. ゼミ紹介

これ以降は、ゼミ生が作成したゼミ文書になります。

ゼミ募集に関する公式情報は、学部の作成する「『演習Ⅰ』(ゼミ)募集要項」に記載されておりますので、必ずそちらも確認してください。

大西ゼミ……………7	手塚ゼミ……………39
小木曾ゼミ………9	中泉ゼミ……………42
尾近ゼミ……………10	中田ゼミ……………44
尾崎ゼミ……………11	根岸ゼミ……………46
尾田ゼミ……………14	芳賀ゼミ……………49
小野ゼミ……………15	濱田ゼミ……………52
木村ゼミ……………18	林ゼミ……………54
齊藤ゼミ……………21	藤山ゼミ……………57
櫻井ゼミ……………22	星野ゼミ……………59
東海林ゼミ………24	細井ゼミ……………61
杉山ゼミ……………26	細谷ゼミ……………64
鈴木ゼミ……………29	水無田ゼミ………66
高木ゼミ……………30	宮下ゼミ……………68
高橋ゼミ……………32	山本ゼミ……………71
田原ゼミ……………34	吉野ゼミ……………73
中馬ゼミ……………37	

大西ゼミ

◆研究テーマ：労働経済

労働市場において不利な立場にある人々の実態を調査し、発見した課題を通して労働社会について考える

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

～ひと言でいうと～

ゼミ生が中心となって活動しており、主体性を重視しているゼミです。

～ゼミ生について思うこと～

メリハリのある人が多いです。ゼミに入ってからすぐに他のゼミ生とコミュニケーションをとる機会があるため、自然と和気あいあいとした雰囲気になります。

～先生について思うこと～

ゼミ生思いで優しい先生です。ゼミ生を優先して考えて、適確な指導をしてくださるので信頼できます。

2. ゼミの志望動機

- ・労働問題について研究するうえで、最も適したゼミが大西ゼミだったため。
- ・オープンゼミの輩方の雰囲気が良く、楽しく活動できると思ったため。
- ・「労働」は自分にとって身近なものであり、問題についても経験をもとに研究しやすい考えたため。

3. ゼミに入って感じたこと

【このゼミに入って良かったこと】

- ・少人数ゆえに話し合いが活発で、他のゼミ生と仲良くなれます。
- ・似たような研究テーマを持っているゼミ生たちと活動するため、自身とは違った視点の意見を聞くことができます！

【オススメポイント】

- ・話し合いが活発で、ゼミ生が主体となっているため、主体性を磨くことができます。

【こんな人がこのゼミに向いている】

- ・労働経済に関する、研究したいテーマや課題がある人
- ・家族の話や自身のアルバイトで「この労働環境おかしいな」など、労働に関して何かしらの疑問を持ったことがある人

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・12月開催のゼミ成果発表会の準備、および発表
- ・卒業論文等に向けた個人研究

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・卒業論文等に向けた個人研究
- ・新聞記事や論文を題材にしたディスカッション
- ・フィールドワーク
- ・ゼミ合宿

3) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文等に向けた個人研究
- ・卒業論文の執筆

5. 年間予算

・演習Ⅰ（2年後期）

約 3,000 円（食事会）

・演習ⅡA・B（3年生）

約 20,000 円（食事会、ゼミ合宿、フィールドワーク）

・演習ⅢA・B（4年生）

約 3,000 円（食事会）

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・「発達障害者の就労支援」
- ・「今後求められるホームレスの支援について」
- ・「観光産業における労働環境の現状と課題から望まれる改善策」
- ・「万引きの未然防止」
- ・「非正規雇用の不合理な所得格差是正に向けて」
- ・「アニメ制作現場における労働問題の現状と課題」
- ・「日本の所得再分配の改善をスウェーデンから学ぶ」

7. 自由記述

個人ワークとグループワークをバランス良く行う、メリハリのあるゼミです。ですがゆったりとした雰囲気なので、リラックスしてゼミに参加することができます！

少しでも興味のある方は5月7日(水)のゼミ個別ブース相談会へ是非お越しください！

小木曾ゼミ

「『演習Ⅰ』（ゼミ）募集要項」をご覧ください。

尾近ゼミ

「『演習Ⅰ』（ゼミ）募集要項」をご覧ください。

尾崎ゼミ

◆研究テーマ：西洋経済史

・西欧地域における経済の発展や変遷を研究する学問です。この分野では、産業革命、資本主義の誕生と発展、植民地主義、商業の拡大、社会的経済構造の変化など、西洋社会の経済的な側面を歴史的視点から検討します。また、歴史の中で経済が社会、文化、政治に及ぼした影響を分析する。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

・普段は自由な活動を行い、遊んでいることなどが多いですが、やるときはやるといったメリハリがあるゼミです。尾崎先生は気さくでなおかつとても優しいので、全員で気軽にコミュニケーションをとりながらテーマにおける意見交換などをとることができます。

・研究テーマは西洋経済史とあるのですが、西洋経済史に限らず卒業論文のテーマの幅が広いので、自分が調べたいことについてしっかりと取り組むことができます。

2. ゼミの志望動機

- ・世界史が好きで尾崎先生の経済史の授業が面白かった
- ・自分の調べたいことを卒業論文のテーマにできるため
- ・自分の興味のある分野がまだ決まっていなかったから

3. ゼミに入って感じたこと

- ・なんでもできます！
- ・自分の興味のある分野を深く知ることができます！
- ・課題が重くないため、バイトとの両立ができ、尾崎先生がよくお菓子をくれます！

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・卒業論文の大まかなテーマを考える（3年以降の変更○）

↓

- ・各自或いは似た要素のあるテーマの人たちで参考文献を探す

↓

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・自身で決定したテーマについて更に深く調べる

↓

- ・サマーセミナー（通学 or 合宿）

↓

- ・卒業論文の執筆を始める

↓

3) 演習ⅢA・B (4年生)

・卒業論文の完成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年		ゼミ個別 ブース 相談会	ゼミ面接 合格発表		夏休み 入ゼミ		大まかなテーマの 決定 (3~4人でのグループワーク)			後期 試験		春休み 参考文献 収集
3年	参考文献 発表	2年生へのゼミ紹介、面接 卒論執筆開始(早い人) サマーセミナーの打ち合わせ			夏休み サマーセ ミナー 夏季イン ターン		卒論執筆開始 就活相談 スプリングセミナ ー打ち合わせ			後期 試験		春休み 3月就職 解禁
4年		就職活動 卒論執筆 卒論中間報告			夏休み		卒論執筆 卒論最終報告			後期 試験		卒業

5. 年間予算

・参考文献費 ¥0~ (実際は¥1,000~3,000が多い)

各自のテーマによって変化しますが、専門的な参考文献は大学図書館で探すこともでき、見つけれなかったものを書店で購入すると良い。教科書はありません。

・飲み会費用 ¥3,000~9,000

希望が多ければその分多く行われる予定。

・サマーセミナー

通学の場合は ¥0

合宿の場合は ¥30,000~ (場所は要相談)

詳細はゼミ個別ブース相談会で

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・香辛料の歴史
- ・メタバースが経済に与える影響について
- ・サッカーの歴史
- ・かつての海賊からみる現代における掠奪経済の可能性
- ・エバンゲリオンから見る聖書などとの関わり
- ・フィットネスの歴史

- ・イタリアにおける家具 ～デザインと産業～
- ・ディズニープリンセスは女性の社会進出でどのように変化したか
- ・星座

尾田ゼミ

「『演習Ⅰ』（ゼミ）募集要項」をご覧ください。

小野ゼミ

◆研究テーマ：「企業研究」

世界中にあるたくさんの企業を対象に、企業研究を行います。

決算書を用いた定量分析はもちろん、数値のみではわからない企業の特徴を分析する定性分析も行い、企業を多角的に評価していきます。

授業で習う事以上に、「ゼミだからこそここまでできる！」を実現した企業分析を企業研究のスペシャリストである小野先生と一緒に行っていきます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・経営学科の生徒しか入ることが出来ないで、他の授業の相談などができる。
- ・先生は企業についてたくさんを知っており、気になっている企業や好きなメーカーなどについて質問しても熱心に答えてくれるため、学びに繋がる。
- ・明るく愉快的な生徒が多く、仲がいい。(ダンスサークルの生徒が意外に多いです)
→ゼミ内でのグループワークはもちろん、ゼミ外での交流もさかんです！
- ・様々な企業に触れることができるため、就活において選択の視野を広げることができる。



実際の授業風景



2. ゼミの志望動機

小野ゼミのテーマは企業研究なので、企業を研究・分析し、企業の面白い戦略や事業の多角化や状況などの知識を身につけることができ、考えに選択肢が増えると考えました。これを活かすことで変化に柔軟に対応し、好奇心を尊重し合えるので志望しました。(鈴木)

自分がどんな企業に就職したいか分からなかったため、色々な企業の分析をして企業について知りたいと思い、多くの企業に触れられる小野ゼミを選びました。(上原)

私は、ベンチャー企業に興味があり、「企業研究」をテーマにしている小野ゼミを志望しました。企業に焦点を当ててゼミ活動を行っていく中で、ベンチャー企業を多角的に見つめ、自身の理解をより深めることができると考えたからです。(佐久間)

3. ゼミに入って感じたこと

2 年次は反転授業を中心に行うため、授業(経営分析)の内容をより理解することができます。

また、発表の方法が自由で自分たちで準備するため、これからも活きるプレゼン能力も、身につけることができます。

グループワーク等アクティブラーニング形式で行うので実践的な能力が身につきました。また、多くの企業に触れることで就活にも役立ちます。

4. 年間スケジュール

4) 演習Ⅰ（2年後期） チーム形式

反転授業＋チーム発表

半年間、4 人または 3 人のグループで進んでいきます。『経営分析』という授業の反転授業、また好きな企業を分析して発表するのを各週ごとでグループ順に回していきます。

5) 演習ⅡA・B（3 年生） チーム形式

共同企業研究、輪読

論読を中心で行っていきます。また、グループごとで共同企業研究を行っていきます。

グループは 2 年生の時から変わります。

6) 演習ⅢA・B（4 年生） 個人形式

卒業論文に向けた企業研究

卒業論文に向けた企業研究を個人で行っていきます。

5. 年間予算

2 年次 『イチから学ぶ企業研究』教科書費 (2,530 円)

3 年次 『入門 企業分析の手法と考え方』教科書費 (1,980 円)

その他 ご飯会等は自己負担

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・『テイクアンドギヴ・ニーズ』
- ・『自動車業界における HONDA』
- ・『ゲーム業界における任天堂』
- ・『メガベンチャー企業(DeNA)』 ※2023 年度の卒論テーマより引用

自分の関心のある企業 1 社(または特定のテーマ・業種)を選び、企業研究を軸にした卒業論文が多いです。

7. 自由記述

小野先生は、たくさんの企業について色々なことを知っているの（本社の場所や社長さん、ビジネスのやり方等）お話を聞いていてとても面白いです！みなさんの好きな企業や、就職してみたい企業などを研究できるので、興味をもって学ぶことが出来ると思います。

実際の講義を自分たちで分かりやすくまとめ、反転授業を行っているゼミは数少なく、希少なゼミです。また、企業研究に焦点を当てて考えていくことで様々な企業について知識を深めるとともに、分析能力も付いてくるので、就活に生きてきます。

ぜひ一度足を運んでみてください！新しい仲間と企業研究をできるのを楽しみにしています！

木村ゼミ

◆研究テーマ：「金融と国際金融」から経済を学ぶ

研究テーマとしては、**金融システムや国際金融に関する事全般**を扱います。具体的なキーワードを挙げると以下のようなものがあります。銀行制度、中央銀行の金融政策、株式や債券などの証券市場、為替レートや為替相場制度、国際通貨、金融危機、キャッシュレス経済、仮想通貨などのフィンテック、決済システム、資産運用、地域や中小企業金融などです。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

◆ひとことでいうと

- ・ プレゼンとディスカッション形式のゼミでわからないことを適宜聞いたり、アウトプットを通して専門知識を身につけることができるゼミ

◆ゼミ生について思うこと

- ・ゼミ全体でとても発言しやすい雰囲気があり、生徒同士がとても仲の良い

◆先生について思うこと

- ・先生はとても話しやすく、質問したことにもとても分かりやすく答えてくださったり、個別でわからないことをいつでも聞いたら答えてくれます。また、アニメがとても好きなのでアニメ関連の話もしていただきます

◆普段の活動風景等



2. ゼミの志望動機

将来の展望が決まっていた人

- ・高校の頃から銀行員になりたいと思っていたから。また、金融の分野に詳しい木村先生の下で学習すれば将来の自分のためになると思ったから
- ・銀行や保険会社など金融知識の求められる職業に興味があったため

そうでない人

- ・経済学部で少し金融に興味があった。また、歴史が好きなので、経済・金融の歴史が現在の社会にどのような影響を与えているのかを学べると思ったため
- ・投資への興味がわずかながらあったため

3. ゼミに入って感じたこと

- ・一つ一つの物事に対して、**先生含めゼミ生全員**で話し合うため、金融知識をしっかりと身につけることができる
- ・**パワーポイントの作成力やプレゼンテーション能力、ディベート力**など、金融の知識だけでなく将来に活かせる力をつけることができる
- ・生まれた疑問をすぐに先生、生徒に共有することができる雰囲気がある
- ・投資や株に役立つ金融の知識を得ることができる
- ・ゼミ生同士の仲がとってもいい

発表することが得意だったり、単純な座学ではなく会話することで知識を身につけたい人におすすめです！

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・基礎的な金融テキストの輪読

<報告者>⇒プレゼン資料を作成し発表

<報告者以外>⇒それぞれ質問内容を考え、ゼミ全体でディスカッションを行う

2) 演習ⅡA・B（3年生）

前期

- ・国際金融に関して2年生と同様に輪読、発表、ディスカッションを行う

後期

- ・1グループ数人のチームを編成し、与えられた金融や国際金融に関するテーマに基づいて共同研究を実施し、12月のゼミ成果発表会で報告を行う

3) 演習ⅢA・B（4年生）

前期

- ・卒業論文のテーマ決め、問題設定

後期

- ・卒業論文の執筆

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

2年		ゼミ個別 ブース ゼミ見学	ゼミ面接 合格発表	夏休み 入ゼミ	基礎的な金融のテキスト の輪読や発表 ディスカッション			春休み 他大学との合同ゼミ などのイベント
3年	国際金融に関するテキストの 輪読や発表 ディスカッション			夏休み 他大学との 合同ゼミ 合宿など	ゼミ成 果報告 会準備	ゼミ 成果 報告 会		春休み 他行との合同ゼミ などのイベント
4年	卒業論文テーマ決め 問題設定			夏休み 合宿	卒業論文執筆			春休み 卒業

- ・長期休みに他大学とのディベート対決を行うことがあります

5. 年間予算

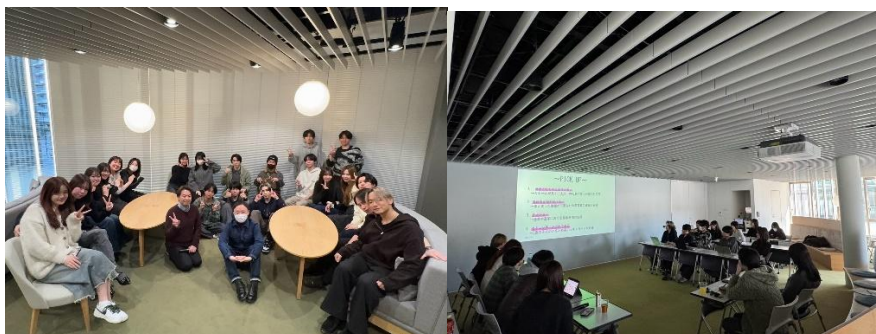
- ・輪読本 約 1,000 円～2,000 円
- ・懇親会代 約 5,000～6,000 円(各期末に一回程)
- ・合宿代 未定

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・去年から発足したゼミの為なし

7. 自由記述

- ・木村ゼミはプレゼンテーションやディスカッションを行い、実は身近にかかわっている金融に関してゼミ生全員で学んでいく事ができるゼミです！
ただ授業を聞くことが退屈な人や金融に興味があるけどいまいよくわからないという人、将来的に何をしたいか特に決まっていない人など木村ゼミ一同お待ちしております！



大妻女子大学との合同ゼミの様子

齊藤ゼミ

「『演習Ⅰ』（ゼミ）募集要項」をご覧ください。

櫻井ゼミ

◆研究テーマ：地域問題と地方財政

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ 櫻井ゼミは「真面目に楽しく」をモットーに、グループワーク中心で活動しています。
- ・ 個性豊かなゼミ生が集まっており、メリハリをつけ活動しています。
- ・ 櫻井先生はゼミ生に真摯に向き合ってください方です。
ゼミ生が新たな気づきを得られるように、様々な視点からご教示いただけます。
また、ユーモラスな面も持ち合わせており、ゼミはいつも明るい雰囲気です。

2. ゼミの志望動機

【将来の展望が決まっていた人】

- ・ 地方財政について学び、財政面から地域を活性化させる方法を知りたかったから。
- ・ 地域問題について研究したいと考えたから。（旅行業界志望）
- ・ 学習内容がどのような部署に配属されても役立つと考えたから。（地方公務員志望）

【そうでない人】

- ・ 大きく成長できそうな雰囲気になれたから。
- ・ 沿線の街歩きが趣味で、街の問題などに関心があったから
- ・ 先生が魅力的だったのと、地方というワードになれたから。
- ・ グループワークを中心とするゼミであるから。

3. ゼミに入って感じたこと

【このゼミに入って良かった点】

- ・ やる時はやる休む時は休む、メリハリがついていること。
- ・ 先輩方が優しく賢い。
- ・ 自分の発表に対して、的確なアドバイスをもらえること
- ・ 話し合いの中で自分の考えを主張できるようになった。
- ・ 先生とゼミ生の距離が近く、コミュニケーションがとりやすい。
- ・ 学生がやる気に満ちており、日々刺激をもらえる。

【成長できた点】

- ・ 書かれたことに答えるということ。これを常に意識するようになった。
- ・ 発表準備を通して、簡潔にまとめる力がついた。
- ・ 数字やデータを読み取り、実際の物事と紐づけて考える力が付いた。
- ・ 議論の中で自分の考えを主張できるようになった。
- ・ わかりやすい文章を作ることを意識するようになった。

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・地域問題と地方財政に関する基礎学習：指定の本を輪読します（全員）
- ・地方財政分析：自身の興味がある市町村の財政分析をして発表をします（個人）

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・グループ論文：学内外の討論会への準備として、班を作り、論文を作成します（班）
- ・就職活動の準備：集団面接の練習や、応募書類の作成・添削などを行います（全員）

3) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文の執筆（個人）
- ・就職活動に関する情報交換（全員）

※長期休暇中は発表会があります。（2日間程度）

5. 年間予算

- ・輪読本：未定
- ・合宿費：未定
- ・懇親会費：3000円程度

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・移住や定住の促進による地方創生
- ・地場産業のイノベーションによる持続可能なまちづくり
- ・インバウンド需要に対応したキャッシュレス化の推進
- ・多様性の時代における住民の居場所づくりと駅前再開発のあり方
- ・新時代のニーズに対応した日本の音楽産業の現状とありかた

7. 自由記述

- ・櫻井ゼミは真面目に楽しく学ぶことができるゼミです。
- ・興味を持った方はぜひ5/7(水)、5/9(火)開催のゼミ個別ブースやオープンゼミに参加してみてください。



東海林ゼミ

◆研究テーマ：会計の目で企業を見よう【管理会計】

財務会計・管理会計の分野からテーマを選び、自分で学習しレジュメを作り、ゼミ生の前で発表します。



1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・意欲的な学生が多く、真面目なゼミです。
- ・個人での活動が中心で、チームを組んで発表会に参加するなどといったことはありませんが、サマーセッション・スプリングセッションを開催し、和気あいあいとしています。

2. ゼミの志望動機

- ・以前履修した「会計入門」「予算管理」などが面白かったから。
- ・東海林先生に基礎演習でお世話になり、信頼できるから。
- ・就職活動に強そうだと感じたから。
- ・公認会計士になる上で会計のことを学べるのがいいと思ったから。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・ゼミに入る前の印象に反して、東海林先生はとても面倒見の良い熱血漢だった、という意見が多いです。
- ・また、普段の活動は個人で行っていますが、長期休みの期間でのゼミでは同学年や先輩とも協働するため、他のメンバーとの距離も縮まります。

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

主に財務会計について学びます。財務会計分野の中から一つ決められたテーマについて各自学習してレジュメを作成し、ゼミの時間にて発表します。

2) 演習ⅡA・B（3年生）

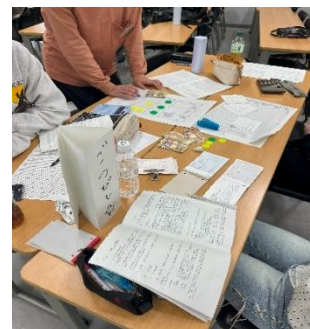
主に管理会計の主要な理論や技法について学びます。2年次と同じく、テーマごとにレジュメを作成し、発表します。

また、3年次終了までに日本商工会議所簿記検定2級の合格が必要です。

3) 演習ⅢA・B（4年生）

企業経営や会計理論・実務に関わるものについて自由に選択し、20,000字以上の卒業論文を作成します。

※長期休みの期間でスプリングセッション・サマーセッションを毎回行い、東海林先生考案のビジネスゲームを行います。様々な企業で採用されている実績のあるゲームで、数人で株式会社を設立し模擬的に商品売買を行うことで、簿記による企業の活動記録がどのように繋がるのか、業績にどのように反映されるのか理解することが目標です。



5. 年間予算

テーマごとの研究が中心なので、教科書はありません。よって「教科書代」は0円です。なお経済学部の子生のため、日本経済新聞（電子版含む）は必読です。

コンパが開催できるようになれば、1回4,000円ぐらい必要になります。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

「持続的な企業価値創造に関する統合報告書の役目と課題—中外製薬の事例をもとに—」

「フィットネス業界の将来性—高齢化社会での位置づけ—」

「PB商品の課題と今後の展開—セブンプレミアムに焦点を当てて—」

「コンビニエンスストアの将来像—地方の店舗に学ぶコンビニ人の未来—」

「葬儀ビジネスの現状と問題点—葬儀業者と利用する側、双方の視点から—」

「内部統制の現状と課題—不祥事事例の分析による報告書の改善提案—」

7. 自由記述

公認会計士や税理士を目指しているゼミ生が多く、適した環境です。もちろん、士業を目指していないゼミ生もいるため、そういった方も熱意があれば大歓迎です。



気になっている方は、【ゼミ個別ブース・ゼミ見学】へぜひお越しください

お待ちしております！

杉山ゼミ

◆研究テーマ：日本経済史・経営史・企業家史

近代から現代に至るまでの日本経済の歴史を中心に、当時の経営活動や企業家の存在を調査・分析し、それが現在の経済・経営活動にどのような影響を与えているのかを研究しています。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・杉山ゼミは、自立した自由があり、やりたいことがやれる！
- ・ゼミのメンバーは、皆ユーモアを持ち合わせており、協調性がある！
- ・杉山先生は和やかな雰囲気で、とても喋りやすい！



現3年生



現4年生

明治・青学との合同ゼミ



2. ゼミの志望動機 現ゼミ生の声

- ・「GPA よりも人柄を優先してもらえる、ゼミだと聞いたので！」
- ・「先輩方の雰囲気がとてもよく、 グループワークも楽しそうだったから！」
- ・「とりあえず人気のゼミに入りたいと思ったから！」
- ・「卒論のテーマを幅広く設定でき、やりたいことができる」と聞いたから！」

3. ゼミに入って感じたこと

- ・ゼミ生同士はもちろん、 先生とゼミ生の仲もよくて楽しい！
- ・お互いの意見を尊重できる！意見をいう事に引け目がない！
- ・自由な雰囲気が好きで、笑顔が素敵なあなたにオススメです！

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・教科書を輪読し、日本経済史のアウトラインを一通り学習します。
章ごとのグループ発表、ディスカッションを通じて、内容の理解とプレゼン能力、ディスカッション能力の向上を図ります。

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・後期のゼミ成果発表会に向け、グループに分かれて研究を始めます。
研究テーマは日本の経済、経営に関することであれば自由！夏休みにはレクや実地研修、11月頃には明治大学・青山学院大学との合同ゼミもあります。

・演習ⅢA・B（4年生）

- ・本来は卒業論文の作成や就活対策を行うものだが、週に一度ゼミのメンバーと世間話などを就活の疲れなどをリフレッシュする機会でもある。

5. 年間予算

- ・教科書 1からの経営史 碩学舎(2,400+税)→先輩から譲り受けるのも○です！
- ・懇親会 3000 円前後

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・「日本的経営が役立つ発展途上国を探す」
- ・「日本の経営に必要なリーダーシップ」
- ・「ファストファッションがもたらした暗い影」
- ・「将来的な仮想空間の可能性と経済に及ぼす影響について」

等ゼミ専攻に近いテーマから自由なテーマまで幅広い！

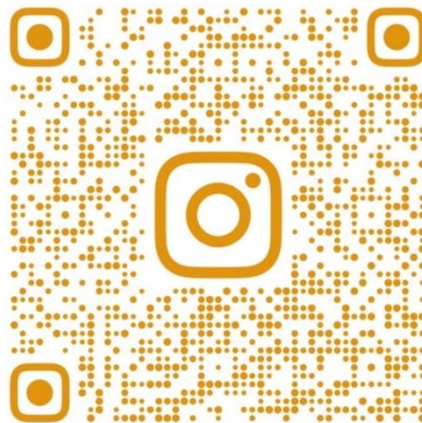
7. 最後に

- ・日本経済史と聞くと、数字がたくさん出てきてお堅い雰囲気がありますが、実際は全くそんなことはありません!(^^)!

前述した通り先生とゼミ生同士の仲もとてもよく、他のゼミよりも明るい雰囲気を醸し出していると自負しているので、そのような雰囲気の中、自分のペースで自分のやりたいことをやりたい方には非常におすすめです！

GPA や成績は選考にあたってさほど重要ではありません。グループワークが好き！人と話すのが得意！残りの学生生活を楽しく送りたい！コミュニティを増やしたい！と思っている方はぜひ杉山ゼミに来てください。ゼミ生、一同お待ちしております。😊

↓↓↓↓↓↓お気軽に質問どうぞ！！



@RYOKANI1031

鈴木ゼミ

「『演習Ⅰ』（ゼミ）募集要項」をご覧ください。

高木ゼミ

◆研究テーマ：日米マクロ経済データ比較

アメリカのデータを使用しているマクロ経済学理論のテキストに沿って、グラフのデータを最新のものに更新し、日本の対応するデータを同様にグラフ化しテキストの記述に基づく分析を適用し、どこまで実際の状況を説明できるか確認する。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・基礎からデータなどの専門的な分野まで幅広く学習するゼミ。
- ・先生に質問をしたときに、答えを直接教えるのではなく、理解する上でのヒントをもらうことができるため、自分自身で考える力が身につき、成長につながる
- ・個人で学習することが多いです。

2. ゼミの志望動機

- ・数学が好きで分析に興味を持ちやってみたいと思ったから。
- ・データの分析や Excel の扱いに長けた人材になりたいから。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・Excel の操作をすることが多いため、Excel をうまく扱えるようになりたいという人におすすめ。
- ・個人での学習が重要になってくるが、先生が親切なので質問をしやすく、学習を円滑に進めることができる。
- ・zoom で授業が進むので授業内容がわかりやすい。

4. 年間スケジュール

1) 演習 I (2年後期)

- ・テキストの内容を報告
- ・テキスト内の図表を理論的な説明に沿って数式化し、Excel を用いたグラフや表で再現する
- ・テキストで学んだ経済理論を実際に使い、章末問題を解く。

2) 演習ⅡA・B (3年生)

- ・各種データの入手方法を利用方法の確認
- ・マクロ経済学の教科書の内容を最新の日米データを用いて再現したグラフと比較し、教科書の理論がどこまで当てはまるか確認する。

3) 演習ⅢA・B (4年生)

- ・各自3年次に行ったグラフ分析を元に、卒論の対象とする分野を絞り込む。
- ・対象分野のグラフ分析からモデル分析や分析範囲を拡大して3年次の分析の深化、拡大を図る。
- ・卒業論文の作成

5. 年間予算

- ・教科書代
2年次約 3000 円、3年次約 6000 円 (3000 円 × 2)
- ・合宿他行事 (各学年で希望に基づいて実施)

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・『消費関数理論の検証-現代経済に対する基礎的理論の通用可否』など、教科書のトピックを掘り下げるものが多い

7. 自由記述

- ・高木ゼミで出される課題は難しいものもありますが、ゼミ生と協力し、先生の助けを受けたりしながらやり遂げることで自分自身の成長につながります。また、課題をこなすにつれて本題となるデータ分析だけでなく、Excelの知識についても詳しくなるため、将来腐らない知識を確実に身につけることができます。そのため、将来何がしたいのか決まってない人は自分の力となるデータ分析・Excelへの先行投資として、このゼミへの参加することをおすすめしたいと思います

高橋ゼミ

◆研究テーマ：統計

私たちのゼミでは、統計について学び、様々な分析手法を用いてデータから情報を引き出します。日常生活の中に潜む数やデータに注目し、そこから得られるデータを収集・分析することで、身近な現象に新たな視点を加えることができます。

数学や数字が好きな人はもちろん、統計について今まで触れてこなかった人でも、講義を通して統計について1から理解を深めていけるため、楽しく統計について学んでいくことが出来ます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・専門的な知識が学べる
- ・ゼミ以外との両立ができる
- ・実生活に屋うだつ基本的な知識から学ぶことが出来る
- ・先生も一緒になって考えてくれる

2. ゼミの志望動機

- ・数学が好きだったから
- ・データ分析に興味があったから
- ・1年生の時に講義でExcelを使ってみて楽しかったから

3. ゼミに入って感じたこと

- ・PowerPointもExcelも講義で使うので技術力が上がる
- ・数学やExcelが得意でなくても1から学ぶことが出来る
- ・基礎から学ぶことが出来るので身につけやすい

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・統計学の基本的を身に着ける（理論中心）
- ・PowerPointを使ってグループで教科書の内容を発表

2) 演習ⅡA・B（3年生）

A・様々な統計分析の方法を身に着ける（PC実習中心）

- ・PowerPointを使ってグループで教科書の内容を発表

B・卒業論文のテーマを探す

- ・参考文献を読み始める

3) 演習ⅢA・B (4年生)

A・本格的にデータを集め計算を始める

B・毎週の進捗状況をプレゼンする

5. 年間予算

・約1万円

(内訳) 教科書、問題集、検定受験料(統計検定)など

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・合計特殊出生率の決定要因
- ・オリンピックのメダル予想
- ・桜の開花日の決定要因
- ・空き家問題の統計分析
- ・為替レートの決定要因
- ・箱根駅伝勝利の方程式
- ・倒産確率の研究

7. 自由記述

・ゼミ履修期間を通して統計検定3級を取得する必要がある

＊3級の試験レベルは2年後期の講義で基本的に学ぶことができます

田原ゼミ

◆研究テーマ：人口減少社会におけるまちづくり

日本の人口変動とその地域性、地域経済に関する研究調査を行う。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・3学年合同でゼミを行うため、ほかの学年の人とも距離感が近く、相談もしやすい。
- ・メリハリがあり、ゼミもまじめに取り組むが、飲み会などのゼミ外での交流も盛ん。
- ・OB・OG会など OB・OGの方々との交流の場があり、実際に社会に出て働いている、先輩方からの貴重なお話を聞くことができる。
- ・ブラザー・シスター制度、スーパーバイザー制度が導入されており、先輩が後輩をフォローしてくれる制度がある。そのため、わからないことがあればすぐに聞き、アドバイスをもらうことができる。
- ・プレゼン発表時には一人一人に田原先生から、的確なフィードバックをいただくことができ、卒論執筆に向け、技術を向上させることができる。
- ・地域活動にも力を入れていて、毎年地域住民の方や、事業者・行政と連携して渋谷さくら祭を運営していて、大学の地元である渋谷の地域活性化に大きく貢献している。

2. ゼミの志望動機

- ・ブラザー・シスター制度が導入されていて、先輩と関わるが多く、先輩方に質問しやすい環境だと思ったため。
- ・発言力、プレゼン力、レジュメ作りの力を身に付けることができると思ったため。
- ・渋谷さくら祭など、地域連携活動に取り組んでみたいと思ったため。
- ・OB・OGの方々と繋がりができ、就活で有利になると感じたため。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・先輩たちの面倒見が良く、授業での発表前にレジュメを丁寧に添削してくれるためレジュメ作成が苦手でも安心して課題に取り組めます。
- ・先輩の発表を見る機会も多いため、発表の仕方や文章の組み立て方を学ぶことが出来ます。
- ・企業や自治体、地域団体の方とも関わる機会が多く、普段の授業では得られない貴重な経験ができ、交流の幅が広がります。

4. 年間スケジュール

1) 演習 I (2年後期)

- ・「ゼミ成果発表会」

『住宅確保用配慮者に対する支援の実態と課題』と『渋谷リバーストリートの利用実態についての調査』の2つのテーマをもとにそれぞれグループを分けてプレゼンを行いました。

- ・「新聞記事報告」

各々がゼミのテーマ（まちづくりや社会保障）に関連した新聞記事を読み、レジュメにまとめ発表することでそのテーマに関する見識を深めました。

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・3年生は2年生に対し、フィールドワークを用いて、渋谷の現在と過去の移り変わりやまちづくりについて紹介しました。また、卒業論文に向けて研究するテーマの選定を行い、選定したテーマに関する論文や新聞記事、学術論文を用いて理解を深めます。

3) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・4年次は卒論の執筆を最終的な目標として各自で調査計画を策定し、現地調査を実施します。完成後はOBOGの方々の前でプレゼンを行う「卒業論文発表会」を実施します。

4) 3学年全体で行ったこと

- ・昨年11月はゼミ生全員で、一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント様との共同研究として渋谷リバーストリートの「利用実態調査」、「利用に関するアンケート調査」、「通行量調査」を行いました。

5. 年間予算

飲み会 9000 円(3 回程度)

合宿 28,000(夏合宿) OB・OG 会 4000 円

合計 41,000 円 ※目安

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・都心再開発と居場所がなくなるホームレス～渋谷区を事例に～
- ・メタバースを活用した地域ブランドの構築に関するモデルの提案

など

7. 自由記述

しっかり勉強し、しっかり楽しむ。メリハリのあるゼミです！

2年後期の活動写真です！



渋谷巡検



ゼミ成果発表



渋谷リバーストリートの利用実態調査

渋谷さくら祭



卒業論文発表会・OBOG会



お待ちしております！！

中馬ゼミ

◆研究テーマ：グローバル経済での社会問題分析

市場経済のグローバル化が進展する中で国内の産業空洞化や雇用喪失、経済格差の拡大、新興国や途上国における労働問題など昨今はさまざまな問題が生じています。その中でもこの中馬ゼミでは特にジェンダーに基づく経済格差や問題がなぜ発生し拡大するのかの基本構造を理解し、国や地域に限定することなく背後にあるグローバル経済の動態について理解を深め、ゼミ生自身で考察することを目的としています。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ かなり自由度が高く自分のやりたい研究ができ、頼れる仲間やゼミ長がいる
- ・ ジェンダーというテーマについて学ぶ中で、互いに意見を出し合うことでより深い学習を進められている
- ・ とにかく先生がにこやかで話しやすい。ゼミの授業中に、窮屈な空間だと思ったことはありません。

ゼミ全体で見た際に、先生をはじめとして雰囲気が和やかであり自身の学習に注力できるといった意見が多く見られました。また、前述した学習テーマに関係していれば幅広いテーマを自身で設定できることが魅力となっています。

2. ゼミの志望動機

【将来の展望が決まっていた人】

- ・ 昨今話題になっているジェンダー問題に興味があったから
- ・ 自身の興味がある分野に対しジェンダーの観点から学習したかったから（教員志望）

【将来の展望が決まっていなかった人】

- ・ 中馬先生の基礎演習や授業が面白く、丁寧だったから
 - ・ ゼミを見学した際にグループワークが多く、自身の苦手意識をなくせそうだったから
- 本ゼミで中心に扱う「ジェンダー問題」への興味に加え、中馬先生や生徒の雰囲気に惹かれたとの声が多く挙がりました。ゼミは2年生後期から4年生後期までの長期間を共にする仲間づくりの場でもあります。学習テーマ同様に「**2年半共に頑張れるか**」も重要です。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・ 授業に対する負担が少なく、自身の活動に注力しやすい。
- ・ ゼミ生同士が仲良くなりやすく、気兼ねなく意見交換できる。
- ・ 研究テーマに絡めていれば自身が勉強したいテーマを深堀出来る。

学習時に自身が勉強したい分野を定めて努力しやすいことや、グループワークの多さから気軽に考えを共有できることをメリットと感じている方が多くいました。また、中馬先生の各課題へフィードバックが丁寧であり、考えを深めるうえで頼りやすいです。

4. 年間スケジュール

	学年	学習事項
2 年後期	9-10 月	アカデミックスキルの復習
	10-11 月	指定文献の購読
	12-1 月	文献報告レポート作成
3 年前期	4-6 月	文献購読
	6-7 月	プレゼンテーション
	7 月	書評レポート作成
3 年後期	9-11 月	ゼミ成果発表会への準備
	12 月	ゼミ成果発表会
	12-1 月	個人ごとにレポート作成
4 年前期	4-7 月	個人レポート改訂
	4-7 月	企業情勢ディスカッション
4 年後期	9-1 月	卒業論文執筆

入学からゼミに入るまでに学んだことを復習し、レポートを作成することを通じて 3 年生後期に控えているゼミ成果発表会や 4 年生後期の卒業論文への練習を行うことができます。

5. 年間予算

中馬ゼミにおいては、ゼミ合宿がなく上記学習で用いる講読文献は基本的にオンライン上からとれるものを使うか、論文を先生がコピーして下さるため、指定文献について購入の必要はありません。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・ 農業のグローバル化は途上国小規模農家の成長に寄与するか
- ・ 福祉評価の多元的枠組み：潜在能力アプローチの現代的展開
- ・ 日本はスウェーデンの「積極的労働政策」を取り入れるべきか
- ・ 日本における既婚女性の二重負担の現状：その要因と解決策

など、テーマはさまざまですが貧困問題や経済格差問題それらに関わる社会的差別問題をめぐる考察が多いです。

7. 自由記述

- ・ 中馬ゼミは真面目に楽しく学ぶことができるゼミです。
- ・ 興味を持った方はぜひ 5/7(水)、5/9(金)開催のゼミ個別ブースやオープンゼミに参加してみてください。

手塚ゼミ

◆研究テーマ：成長戦略研究

グループ討論を通して、経営戦略の理論を用いて企業を分析し、その企業の課題を明らかにしたうえで、企業がさらに成長するためにはどのような戦略やビジネスモデルが立案できるかを考えていきます。先生の実務経験も踏まえた、実社会に出てからも役立つ戦略分析力も養っていきます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

▼ひと言でいうと

落ち着いていて、穏やかな雰囲気 of ゼミ

真面目な雰囲気、学びの環境が整っている

▼ゼミ生について思うこと

静かで真面目な人が多い

議論はきちんと行うが、雰囲気が柔らかくメリハリがついている人が多い

▼先生について思うこと

寛容的で優しく穏やかな先生

解説が分かりやすく、学生の理解度に合わせて柔軟に対応してくれる先生

▼活動風景



輪 読 ・ プ レ ゼ ン

グ ル ー プ 討 議

先生解説

2. ゼミの志望動機

《展望が決まっていた人》

「ビジネスモデルに興味があったから」

「経済学科だけど、経営に近い内容も学びたいと思ったから」

「経営戦略に興味があり、実務経験のある先生に教わりたかったから」

「先生のご職業であるコンサルタントという職業に興味を持ったから」

《展望が決まっていなかった人》

「落ち着いたゼミの雰囲気に惹かれたから」

「“日本の中小企業”や“事業承継”の講義を担当している手塚先生に教わりたかったから」

「実践的・主体的に経営戦略について学ぶことができると感じたから」

3. ゼミに入って感じたこと

▼このゼミに入って良かったこと

- 「経営戦略について半期をかけて、しっかり学ぶことができたこと」
- 「経営についての知識はゼロだったが、着実に学び進められていること」
- 「プレゼン力が身についたこと」

▼オススメポイント

- 「企業分析において自分が学んだことを活かすことができる」
- 「経済学科の人でも経営について 1 から学べる」
- 「雰囲気良し、大変すぎず、適度にしっかりやるゼミ」

▼こんな人がこのゼミに向いている

- 「みんな真面目で、ゼミの雰囲気も穏やか！ 落ち着いて勉強したい方におすすめ！」
- 「真面目にゼミ活動がしたい人や、物事をじっくり考えたい人」
- 「みんなで真面目にコツコツと学びたい人」

4. 年間スケジュール

● 演習Ⅰ（2年生後期）

輪読(ほぼ毎回)とミニ演習(3回程度)を通して経営戦略の基礎スキルを養成

輪読：学年全体で同じ入門書を読み、発表・討議するプロセスを通して知識を習得する。

ミニ演習：チームで企業を分析し発表するプロセスを通して、習得した知識を活用する。

※2024 年度課題図書：綱倉・新宅(2011)『経営戦略入門』日本経済新聞出版社。

● 演習ⅡA・B（3年生）

グループでの企業分析を通して企業の課題を明らかにし、ビジネスプランを作成

前期：フレームワークを用いて実企業の内部環境・外部環境を分析・発表し、企業課題を明らかにする。その後、企業の新たな方向性を検討して新規事業を考える。

後期：これまでに習得した経営戦略スキルを用いてグループでビジネスプランを作成・発表し、全員で討議する。最終的にはビジネスプランコンテストへの提出を目指す。

● 演習ⅢA・B（4年生）

3年次までに培った経営戦略スキルを踏まえた卒業論文の作成

前期：個人でテーマを設定し、特定の企業や業界を分析する。

後期：前期の分析に基づき、企業や業界の課題や方向性を卒論論文としてまとめる。

5. 年間予算

- ・教科書代：3700 円程度（演習Ⅰで使用する輪読本の金額）
- ・懇親会代：3000 円程度/回（実施については各学年の学生の自由）

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

「後発企業の成功要因についての考察」

「トヨタの電気自動車における経営戦略」

「ビジネスホテル業界のコロナ禍における影響 ～5ホテルの主な取り組み～」

「戸建分譲業界におけるオープンハウスグループの成長戦略の提案 ～チャレンジャー企業の成長事例から見る～」

「D2C スタートアップの成長におけるブランド・コミュニティの発展 ～BASE FOOD株式会社の事例～」

中泉ゼミ

◆研究テーマ：ミクロ経済学

ビジネスあるいは経営戦略のためのミクロ経済学を学ぼう

それらをふまえ、経営戦略を経営学とミクロ経済学の双方から理解し、実践できるようになろう

そのために必要となる**数学**を学ぼう（復習しよう）

教材を通して**英語力**（ただし読解力）を自主的に向上させよう

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・学生主体でミクロ経済学について学べる！
- ・学生全員の意見がよくあうことが多くて仲がいい！
- ・優しくて融通が利くとてもいい先生！



2. ゼミの志望動機

●1人目

コンサルティング業界や企業の経営企画に興味があり、「経営戦略」を専門的に学べるゼミを探していました。中泉ゼミでは、ミクロ経済学をベースに戦略を論理的に分析・検討するというアプローチが魅力的で、自分の将来につながる実践的な力を養えると感じて志望しました。また、英語の専門書を扱う点にも惹かれ、論理的思考力に加えて英語読解力も鍛えられる点が大きな決め手でした。

●2人目

将来やりたいことはまだ明確ではなかったものの、「経営」や「ビジネス」に漠然とした関心がありました。その中で、中泉ゼミの「ミクロ経済学×経営戦略」というテーマは幅広い分野に応用が利き、社会に出たときに役立つ思考力を身につけられると感じました。英語や数学に少し不安はありましたが、挑戦してみたいという気持ちが志望につながりました。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・ゼミ内でのディスカッションや相互フィードバックを通して、自分の意見を発信する力や他者の視点を取り入れる力が養われた

オススメポイント

- 英語の読解にチャレンジしてみたい人
- 数学や経済学に抵抗が少ない人（得意でなくても OK）
- 仲間と一緒に学びながら、切磋琢磨して成長したい人

4. 年間スケジュール

(1) 演習Ⅰ（2年後期）

経営戦略に関連するミクロ経済学の初歩を中心に学び、土台固めをする。最低限必要な数学の初歩を復習のうえ、下記の主教科書の最初のほうにある Economics Primer : Basic Principles などを主な題材として学習・研究。

(2) 演習ⅡA・B（3年生）

2年次の学習を基礎に、最低限必要な数学のその2（微分）を復習のうえ、主教科書等を題材に「経営戦略の経済学」をさらに深く学習・研究。演習ⅡBでは、経営学の一分野である経営戦略論の詳細を、これまで学んだ経済学的な知見で、批判的に相対化して徹底学習。

(3) 演習ⅢA・B（4年生）

個別研究とそれに基づく卒業論文の作成。個別研究とはいえ、ゼミ生全員でテーマを互いに共有、相互に批判・検討、切磋琢磨して、優れた論文に仕上げる（そのチームワークを重視）。論文のテーマは、経済学、経営学、会計学にかかわっていれば、原則、なんでもよい。

3・4年次合同のサマーセミナー：① 3年生による「演習ⅡBの出発点的な内容」に関する学習報告をすでにその知識のある4年生がコメント。相互に理解を深める。② 4年生による卒業研究の中間51報告。4年生のみならず、次の年には論文を書くことになる3年生も積極的に質問・発言。ディスカッションを盛り上げる。

5. 年間予算

教科書などの教材は先生が用意してくれるので0円！

そのほか行事なども特にありません！

7. 自由記述

中泉ゼミでは、ミクロ経済学を基礎に経営戦略を論理的に学び、実際のビジネスに応用する力を養います。英語教材を使いながら思考力と読解力も鍛えられるので、将来の選択肢を広げたい人にぴったりです。経済やビジネスに少しでも興味があれば、ぜひ一度のぞいてみてください。

中田ゼミ

◆研究テーマ：企業分析・財務会計

中田ゼミでは、有価証券報告書を用いた企業分析・ビジネスコンテストの参加に向けた取り組みなどを行なっています！

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・みんな仲が良く、とても賑やかです！ですが、やるときはやる！といったメリハリのあるゼミです！！
- ・グループワークがメインなので、早くみんなとなじめるゼミです！！
- ・中田先生自身がメリハリのある人なので、授業中は真面目ですが休憩時間などは気軽に話してくれます！また面倒見も良く、授業や就活に関することなど、いろいろな相談に乗ってもらえます！

2. ゼミの志望動機

《展望が決まっていた人》

- ・国際会計と財務会計が両方学べるゼミにはいりたかったから。
- ・K-PLAS で簿記やっていて会計をやりたかった。
- ・個人活動よりグループワークだったから
- ・金融業に就職したいため、会計系を勉強したいから。

《展望が決まっていない人》

- ・サークルと勉強が両立できそうだから。
- ・特にやりたいことはなかったが、企業分析の仕方を就活に役立てられそうだったから。
- ・ゼミ生同士の雰囲気が良かったから。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・このゼミに入って良かったことは、ゼミ生同士での仲がよく、グループワークもみんなが進んで協力してくれるため、居心地が良いことです。また、このゼミでは個性豊かなゼミ生が多く、グループ単位で活動を進めていくので、さまざまな人との協働の仕方についても学べるのだと思います。

4. 年間スケジュール（2025 年度予定）

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・企業分析（本年度は、学内で他ゼミと合同発表会を予定）
- ・ビジネスコンテスト参加（昨年度は、根岸ゼミ・宮下ゼミと合同で発表会）
- ・経営戦略と会計の教科書の発表

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・産学チャレンジプログラムへの参加
- ・ビジネスコンテスト参加

- ・他大学との合同ゼミ
- ・経営分析（企業価値評価）
- ・学部のゼミ発表会への参加

3) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文
- ・ビジネスコンテスト参加

5. 年間予算

- ・教科書代：2冊で4,000円程度
- ・合宿：1回3万円程度

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・総合商社を取り巻く事業リスクと商機—業界大手3社の企業価値評価を通じて—
- ・富士ゼロックスの不正会計～会計上の問題点とコーポレートガバナンスの問題点の分析～
- ・企業の物流戦略と物流不動産
- ・日本における退職給付会計のゆくえ—過去の改正によるIFRSとのコンバージェンスと現行基準の相違による財務諸表への影響—
- ・サウスウエスト航空の競争優位性と米LCC業界での今後の展開分析
- ・日本の資産形成促進への取り組みと今後の施策

7. 自由記述

2年生は金曜5、6限で活動しています。学年合同で活動しており、先輩と合同で授業を行います！先生や先輩方からアドバイスももらいながら授業を行いますので、縦のつながりを持つこともできます！スプセとサマセでは合宿に行くため、ゼミ生や先生と仲良くなれ、楽しく学ぶことができます！会計だけでなく、企業分析についての知識も得ることができるので、少しでも興味がある方大歓迎です！ご応募お待ちしております！

根岸ゼミ

◆研究テーマ：現代における経済社会の問題

根岸ゼミでは、「現代における経済社会の問題」について学びます。根岸先生の専門は財政学で、これは政府の活動や制度・政策についての研究をする学問です。政府の活動は多岐にわたり、話題になる経済問題のほとんどに政府が何らかの形で関係しています。そのため、極端に言うと、今おこっている経済問題のすべてが根岸ゼミでの勉強の対象になります。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ヨコのつながりだけでなく、タテのつながりも大切にしています。
- ・ピア活動やコンテスト、メンター・メンティー(上級生が下級生にアドバイスなどをする仕組み)など、授業外でもゼミ生同士でのコミュニケーションをとる機会が多いです。
- ・学生と距離が近く、積極的に関わってくれる先生がいます。



2. ゼミの志望動機

- ・コンテストに出て主体性を磨きたかったため。
- ・グループワークを通じて自分の視野を広げたかったため。
- ・様々な経済社会問題に触れるチャンスがあることに魅力を感じたため。
- ・授業外でもゼミ生との関わりを持てるため。
- ・先輩や後輩とのつながりを大切にしたいかったため。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・授業外でも多くの活動(コンテスト、メンター・メンティー、ピア活動)を行うため、やりがいを感じることができます。
- ・メンター・メンティー制を設けているので、人間関係から就活まで幅広い相談を個人的に上級生にすることができます。
- ・学びを追求したい人、経済問題を幅広く学びたい人にオススメです！

4. 年間スケジュール

演習Ⅰ（2年後期）

- ・ゼミとしてのチームビルディング
- ・専門書の輪読
- ・外部コンテストへの参加

演習ⅡA・B（3年生）

- ・外部コンテストに参加：2つか3つ
- ・グループ論文・プレゼン資料を2つか3つ作成
- ・卒業論文のテーマ決め
- ・その他

演習ⅢA・B（4年生）

- ・夏休みまでに卒業論文の全体を、ひと通り書き上げます。
- ・後期は全員の卒業論文を順に読み、卒業論文をブラッシュアップします。

ゼミ合宿

- ・夏休みと春休みに、ゼミ合宿に行きます。
- ・ゼミ合宿は、学年合同で実施します。

その他

- ・メンター&メンティー制で、週に一度、ミーティングがあります。
- ・ゼミコンを学期のはじめと終わりに実施する予定です。
- ・教員との個人面談が、夏休みと春休みにあります。

5. 年間予算

- ・テキスト代（2年）、必要な本代（3年・4年）、合宿代、その他がかかります。
- ・およそ2万5千円くらいです。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・ 今後の日本でより長く健康で豊かに過ごすには
- ・ 持続可能な地方中核都市の形成を目指して
- ・ 日本における同調現象の理解「空気を読む日本人」は集団主義か
- ・ Maas は日本の公共交通機関が抱える問題を解決できるのか
- ・ 農業協同組合の役割の変化と今後の可能性 農作物の流通を軸にして

7. 自由記述

- ・ 根岸ゼミはゼミでの学びを通して充実感を味わいたい人、社会に出てからも通用するような力
- ・ 経験を得たい人にオススメです!
- ・ 興味が少しでも湧いたら是非、ゼミ個別ブース相談会やゼミ見学に足を運んでみてください

根岸ゼミ一同皆さんをお待ちしています!!

芳賀ゼミ

◆研究テーマ：消費者視点で学ぶマーケティング問題

芳賀ゼミでは、「消費者視点」でのマーケティング問題について学んでいきます。消費者がなぜ買うのか、いつ買うのか、何を買うのか、どのように買うのかについて「消費者行動論」といった心理学と関連の深い分野について、グループワークを中心に研究をしていきます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・現在4年生19人、3年生20人の合計39人で活動しています。
- ・グループワークを積極的に行うので、ゼミ生同士で非常に仲の良いゼミです！
- ・複数の係に分かれてゼミ運営や課外活動に取り組んでいます！
- ・先生は真面目で優しく、連絡事項や授業内容の指導を手厚く行ってくださいます



2. ゼミの志望動機

- ・企業に入社後、マーケティングの知見を活かして、企画や製品検討をやってみたいから。
- ・他の授業で芳賀先生からの学びを受け、説明の丁寧さなどから、芳賀先生のもとでマーケティングを学びたいと思ったから。
- ・顧客目線から物事を検証し、データなどを活用しながら0から新しいモノを発想していくマーケティングの学習に興味を持ったから。
- ・ゼミの雰囲気が明るく、ゼミ生同士の仲が良いと感じたから。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・課題への提案や卒論のテーマなどを自由に決める事が出来るので積極的に活動できる！
- ・親しみやすい先生のため、授業内容やプロジェクト内容で困ったときに気軽に相談しやすいので安心感がある！

- ・グループワークを中心に授業を進めていくため、ゼミ生全員と「ヨコ」の繋がりをしっかり築きながらゼミ活動をすることが出来ます。
- ・授業で学習した内容を活かしたプレゼンテーションを行う機会が多数あります。発表時には詳細にフィードバックを頂けるので、着実に成長することが出来ます。
- ⇒マーケティングやグループワークが好きな人、ゼミ生との関わりを大切にする人向けです！

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・消費者の視点からマーケティング問題の発展についてグループ研究を通して考えます。
- マーケティングリサーチのうちの定量調査でよく使われる多変量解析(分散分析、回帰分析、因子分析、クラスター分析)実習を行います。グループ毎に好きなテーマを決め、調査・分析をした上でプレゼンテーションをします。

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・消費者の視点からマーケティング問題の発展についてグループ研究を通して考えます。
- 前期では各班ごとにテーマを決め、それに合わせた研究を行います。自分たちで調査・分析をした上でプレゼンテーションをします。
- 後期では産学連携(企業とのコラボ)による商品開発や共同研究にも取り組みます。

3) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・マーケティングのうち消費者行動領域において自らの興味・関心のあるテーマのもと、マーケティングリサーチに基づく卒業論文の執筆に取り組みます。

※この他に 1day のグループワークイベントなども長期休暇に行われることがあります。

5. 年間予算

- ・合宿：おおよそ 15000 円（実施場所や内容などによって変動します）
- ・懇親会など…1 回あたり 3,000 円程度
- 授業では特に必要な教科書などはないです！

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

・芳賀ゼミはマーケティング(特に、消費者行動)に即した内容であれば自由にテーマを決めることができます。ここでは代表的なキーワードをご紹介します。

【代表的なキーワード】

- ・ AI (AI 音声、バーチャルインフルエンサーなど)
- ・ 推し活/ファン心理 (国内の女性アイドル、 韓国のガールズグループなど)
- ・ エシカル消費/倫理的消費、課金行動、紙媒体 vs. 電子媒体、
- ・ 五感に関するマーケティング (カラーマーケティング、色彩心理、感覚マーケティング)
- ・ 観光マーケティング (ファンツーリズムを含む)、クチコミ/e クチコミ
- ・ キャッシュレス決済: デジタル 地域通貨、クチコミ/e クチコミ
- ・ キャラクターマーケティング、苦情行動/カスタマーハラスメント、etc…

7. 自由記述

マーケティングに興味がある人や何事にも意欲的に取り組める人
大歓迎です！

ゼミ個別ブースや公開ゼミを開催しますので、ぜひご参加ください！



濱田ゼミ

◆研究テーマ：ゲーム理論と行動経済学の応用

ゲーム理論や行動経済学を用いた独自の理論分析および経済実験（アンケート調査）による統計分析（分析テーマはゼミ生自身で設定します）

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ひと言でいうと

→個性豊かなメンバーが集まっていますが、グループワークでは真剣に協力し合い、一つの方向に向かって取り組んでいます。楽しいことが好きで、協調性があり、面白い人ばかり。ゼミ終わりにはみんなで飲み会を開くこともあり、先生がふらっと顔を出すことも…？一言で言うと、みんな仲良しです！（下の写真はとある日のものです。）

- ・先生について思うこと

→丁寧な教え方と的確な講評で、新たな気づきを与えてくれる先生です。お喋り好きで親しみやすく、学生一人ひとりに丁寧に向き合ってくれます。



2. ゼミの志望動機

- ・濱田先生のミクロ経済の授業が印象的で、経済学の面白さを実感したから。
- ・将来やりたいことはまだ明確ではなかったが、グループワーク中心の授業形式に魅力を感じ、分析力や協働力など、将来に役立つ力を身につけたいと考えたから。

- ・ゲーム理論や行動経済学を通じて、企業の戦略や消費者の行動心理を分析してみたいと思ったから。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・グループワークを通じて、協調性や主体性、傾聴力を高めることができ、振り返りを重ねることで発表の質も向上した。
- ・ゲーム理論はごく身近な駆け引きも分析できるので、楽しみながら研究ができる。
- ・共同作業を通じて実験やデータ分析を行い、実践的な力を身につけることができる。
- ・実験やデータ分析を協力して取り組みたい人、グループワークやプレゼンを通じて協働力や分析力を高めたい人や、ミクロ経済や数学を楽しみながら学び、自分たちでゼミ活動を決めて楽しみたい人が向いている。

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・行動経済学を用いたグループ研究
(経済実験のデザイン作成、調査の実施、統計分析など)

2) 演習ⅡA（3年生前期）

- ・ゲーム理論を用いたグループ研究
(ゲームモデルの作成、均衡分析など)

3) 演習ⅡB（3年生後期）

- ・「行動経済学グループ」と「ゲーム理論グループ」に分かれて独自研究
- ・「ゼミ成果発表会」や「学外のゼミ討論会」などに向けた準備

4) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文の執筆に向けた準備と研究
(論文の執筆は個人ですが、グループで協力しながら論文の執筆を進められます)

5. 年間予算

- ・2年次：教科書代 3,000 円程度
- ・3年次：教科書代 3,000 円程度

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

昨年度始まったゼミなので、歴代の卒業論文はありません

7. 自由記述

・創設されてからまだ2年しか経ってしない出来立てほやほやのゼミです！本ゼミの研究テーマである「ゲーム理論」そして「行動経済学」に興味のある人、あるいはグループワークを通じて社会人基礎力を身に付けたい人など、少しでも興味を持った人はぜひ、5月7日と5月9日のゼミ個別ブース相談会でお待ちしております！

林ゼミ

研究テーマ「医療経済学：医療を通して日本の経済とビジネスを学ぶ」

少子高齢化が進むなか、医療は日本の経済とビジネスの中心と言っても過言ではありません。林ゼミでは、この医療を切り口に現代日本社会への問題意識を深め、経済学を分析道具として、理論と実証の両面から医療のあり方を研究していきます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

林ゼミでは、経済学の基礎的な理解を深めるとともに、医療福祉や医療ビジネスとの関連性についても議論を行います。経済学の体系的な学修に加え、医療を切り口とした実社会の仕組みに触れることで、両者のつながりを意識しながら理解を深めることができます。

24年度の2年後期から始まった「演習Ⅰ」では、テキストの輪読を通じて、各自が担当箇所をプレゼンテーション形式で発表しました。文献の精読や資料作成を行い、それを分かりやすく伝える過程を通じて、論理的思考力を養います。また、プレゼンテーション後には林先生による丁寧な補足や議論の展開があり、学んだ知識を応用する力も培われます。

林先生は、経済理論や経済現象を基礎から論理的に解説して下さるため、学修内容の意義や実用性について深く考察することができます。さらに、医療との関連性についても専門的かつ分かりやすい説明があり、医療分野の基礎的な知識も身につけることができます。

2. ゼミの志望動機

- 高い公共性や公益性をもつ医療という切り口から経済学を学びたいと考えたから。
- 医療関係の業界に興味があったから。
- 経済学が医療サービスにどのように関連し、その経済学を学んだ人材が理系中心のイメージがある医療業界でどのように活躍できるのか興味を持ったから。
- 社会保障制度について理解を深めたいから。
- 少子高齢化社会において重要である医療について学ぶべきだと考えたから。

3. ゼミに入って感じたこと

プレゼンテーションを通して、図表やグラフがどのような理論や仕組みに基づいて構成されているのかを基礎から理解することができ、その結果、応用の場面でも図やグラフを的確に活用して分析・考察する力が身につきました。

また、林先生が現代日本社会や日本の医療サービスに関する様々な問題を取り上げ、ゼミ内で活発な議論を展開して下さるため、社会の現実的な課題に対して関心を持ち、経済学的な視点から論理的に考察する姿勢を養うことができました。

病院見学を通じて、実際の医療現場や医療システム、病院経営の実情に触れることができたのは非常に貴重な経験でした。現場を見ることで、その後の学修内容に対する理解が深まり、特に病院間の比較において、データによる客観的な視点だけでなく、病院側の立場を踏まえた主観的かつ実地的な考察もできるようになった点に大きな価値を感じています。この経験は、

医療経済学の学びだけでなく、今後の就職活動やキャリア形成においても重要な礎となると考えています。

医療に関する知識が全くない方でも安心して参加できるゼミです。医療や社会保障に興味がある方、また論理的思考力を高めたいと考えている方に、特におすすめのゼミです。

～先生について～

林先生の話は面白く、多くの学びが見つかります。一人一人とのコミュニケーションを大切にしており、学修やキャリアに関する相談、その他質問などにも親身に対応していただきます。温かい人柄と博識さは私たちのゼミ生にとって大きな励みになっています。

4. 年間スケジュール

演習Ⅰ（2年生後期）

- ・経済学の基礎を学ぶことを目的に、経済学の入門書を輪読します。
- ・担当者がパワーポイントを作成しプレゼンテーションを行い、メンバーで議論を行います。
- ・医療の現場を知り理解を深めるため、病院見学を実施します。2024年度は3病院（日本赤十字社医療センター、東京医科大学病院、おうちにかえろう病院）の見学会を実施しました。

演習ⅡA・B（3年生）

- ・医療経済学の本を輪読し、医療を経済学的に検討していきます。
- ・就職活動の準備のため、業界研究、ES作成、林ゼミOB/OGによるキャリア説明会などを行います。

演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文の執筆
- ・就職活動への支援・指導

5. 年間予算

- ・約10,000円

2024年度実績内訳：

- ・マンキュー「入門経済学 第3版」東洋経済新報社 3,200円
- ・細谷・増原・林「医療経済学 15講」新世社 2,400円
- ・その他、病院見学会への参加にかかる交通費など

6. 卒業論文テーマ例

ゼミは2024年度から開始したので、本校での卒論実績はありません。

前任校では、以下のようなテーマ例があります。

- ・医療費の効率化政策に関する研究
- ・診療報酬制度と病院経営に関する研究
- ・薬価基準制度と医薬品産業に関する研究
- ・医療人材派遣ビジネスに関する研究
- ・医師の働き方改革に関する研究
- ・医療機器産業に関する研究
- ・臓器移植に関する研究

・年金制度の持続可能性に関する研究 など

※主に医療分野に関する研究が多いですが、皆さんの興味に応じて自由に研究してもらって構いません。



(輪読発表イメージ)



(日本赤十字社医療センター見学, 新 3)

藤山ゼミ

◆研究テーマ：経営学

広義の「経営学」は4つの分野に分類されます。会計、金融、マーケティング、そして経営戦略論や経営組織論等を含む狭義の「経営学」です。藤山ゼミでは、狭義の「経営学」について、研究や輪読を通して学ぶことができます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ひと言でいうと
根暗陰キャ救済ゼミ
- ・ゼミ生について思うこと
真面目なゼミ生が多く、グループワークに意欲的に取り組んでいます。
- ・先生について思うこと
分からないことをそのままにせず、納得できるまで説明してくれる、面倒見の良い先生です。

2. ゼミの志望動機

- ・経営戦略論について学びたい
- ・経営組織論について学びたい
- ・企業研究を就活に役立てたい

3. ゼミに入って感じたこと

- ・忙しい分やりがいを感じる
- ・経営学の専門的な知識が身についた

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・個人ワーク：輪読（要約・レポート作成）
- ・グループワーク：事例分析

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・個人ワーク：輪読（要約・レポート作成）
- ・グループワーク：ゼミ成果発表会

3) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・前期：輪読、卒論
- ・後期：卒論

藤山ゼミでは金曜の5限6限を使って演習を行います。

- ・5限の活動(輪読)
 - ・経営学は社会学、経済学、心理学を元に生まれた学問であることから、社会学、経済学、

心理学のいずれかの分野の本を読みます。

- ・授業日までに、個人ワークとして、要約を行って疑問に思ったことを洗い出しておくことと、本の内容から考察できることを書きだしておきます。
- ・授業では、疑問点を先生に解説してもらうことと、考察についての意見交換を行います。
- ・6限の活動(事例分析、ゼミ成果発表会)
- ・授業日までに研究をグループで進めておきます。
- ・授業では、研究発表を行い、ゼミ生や先生から意見をもらって次週までに何をすべきか明確にします。

サマーセッション（ゼミ合宿）

- ・2年生と3年生の夏休みにあります。
- ・ディプロマシーというゲームを行います。

スプリングセッション(事例分析の続き)

- ・2年生の春休みにあります。
- ・グループワークの事例分析を進めます。
- ・私の時は、各週3つのグループのうち2グループずつが集まって活動しました。春休みが6週間あったので、計4回ありました。

5. 年間予算

- ・輪読で使用する本（半期 約 5000 円）
- ・夏のゼミ合宿（約 30000 円）
- ・懇親会（1 回約 3000 円）※実施できた場合
- ・その他各自の研究で別途資料代がかかります。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・夏フェス市場の成長要因
- ・Panasonic が半導体事業を売却した理由
- ・投資銀行業務の国内市場分析及び日系投資銀行
- ・イノベーションのジレンマから見る SHEIN
- ・ライフネット生命のビジネスモデル
- ・ゆるキャラ広告の達成困難性

7. 自由記述

ゼミを選ぶ上で自分の興味分野に合致したゼミに入るのが望しいですが、実際は先生との相性がゼミとの相性を大きく左右しているように私は思います。

そこで、藤山先生のビックファイブを無断で勝手に私が公開しようと思います笑。

ビックファイブとは、早い話、学術的に正しいとされている性格診断です。狭義の経営学の一分野である、経営組織の授業のパーソナリティの回で学びます。外向性、神経症傾向、協調性、勤勉性、好奇心の5項目で評価します。藤山先生は外向性と協調性が皆無で、神経症傾向、勤勉性、好奇心がMAXです。藤山先生としては、勤勉性と好奇心がある人が欲しいようで、外向性と協調性はあった方が良いが、なくても良いそうです。

星野ゼミ

◆研究テーマ：経営戦略や事業創造を中心とした経営学

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・経営学を全般的に学ぶことができる。
- ・ゼミ中の雰囲気が堅苦しくなく、メリハリがあって居心地が良い。
- ・生徒に優しく、発言がしやすい雰囲気を作ってくれる。 など

2. ゼミの志望動機

- ・将来的にどのような職に就きたいか、明確に決まっていなかったので経営学について幅広く学ぶことができる星野ゼミを選んだ。
- ・神奈川産学チャレンジがあると聞き、プロジェクトの作成能力やプレゼン力を磨きたいと思ったから。 など

3. ゼミに入って感じたこと

- ・イベントを通じて多くの経験ができると同時に、プレゼン力やリサーチ力などを身につけることができた。
- ・他の授業で習った知識と結び付けて学べる。また、ゼミで習ったことが他の授業の内容を理解する上でヒントになることもある。
- ・部活動との両立がしたい人など、何かと両立して学生生活を送りたい人におすすめ。 など

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・輪読「小倉昌男 経営学」

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・輪読「ケースに学ぶ経営学」
- ・産学チャレンジプログラム in 神奈川
- ・ゼミ成果発表会

4月～7月 輪読・グループワーク

8月～11月 学外ビジネスコンペ

12月 ゼミ成果発表会

1月～3月 就活・卒論について

3) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒論作成・発表

5. 年間予算

- ・教材費：@3,000/年
- ・懇親会費：@3,000/回（年間3回程度開催）
- ・計：12,000～15,000/年程度

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・アパレル業界におけるSDGsの取り組みに関する一考察
- ・エシカル消費が購買意欲に与える影響に関する一考察
- ・QRコードの汎用性に関する一考察－FeliCaとの比較を通じて－
- ・シェアド・リーダーシップの有効性と課題に関する一考察
- ・企業による交通事故低減に向けた取り組みの有効性と課題に関する一考察

7. 自由記述



細井ゼミ

◆研究テーマ：国際経済、国際経営

細井ゼミでは国際経済・国際マーケティングについて詳しく学びます。具体的には国際的な商取引、グローバル経済内の多国籍企業(TNC)・国家の動向などを学びますが、これらのことについて知識や考えを深めると何気ない海外のニュースも鮮明に理解することができ、大変ながらも面白い分野です。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ひと言でいうと

先生を含めて仲が良く、アットホームな雰囲気です。

- ・ゼミ生について思うこと

ゼミ外では他愛もない雑談をしてわいわいしていますが、ゼミ内の活動は誠実に取り組みます。

- ・先生について思うこと

細井先生といえば「厳しい」「怖い」というイメージがあるかもしれませんが、ゼミ生からは真逆のイメージです。先生は確かにストイックな面があり、ゼミの活動には真面目に取り組んでいますが、質問には親身に答えてフォローしてくれたり、雑談にも楽しく付き合ってくれたりする優しい先生です！



(授業中)



(ゼミの授業後の飲み会)

2. ゼミの志望動機

- ・国際経済、国際経営に興味がある
- ・海外が好き、海外に行きたい
- ・先生やゼミ生と仲良くなりたい

3. ゼミに入って感じたこと

- ・少人数ゼミのため、先生が一人ひとりに目をかけてくれます。
- ・OB、OG 含め縦のつながりが強いので、先輩に色々と相談することができます。
- ・ゼミ後の飲み会や合宿など交流の機会が多いため、ゼミで仲良くしたい人に向いています。
- ・飲み会は国際系のゼミというだけあって、ベトナム、タイ、イタリア、スペイン、アフリカなど様々な国際料理のお店に行けるのが楽しいです。

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

英語の教科書を使い、国際経済や国際経営についての基礎知識を身につけます。英語と聞くと難しく感じるかもしれませんが、個人の能力に考慮した本なので、最初は抵抗があっても、次第に慣れます。3年生以降で、テーマによっては英語の文献を扱う事もあるので、その練習と先生は言っています。また、週の担当者が日本経済新聞から気になる記事をピックアップしてゼミ内でそれを紹介し、国際情勢に関心を広げています。

2) 演習ⅡA・B（3年生）

それぞれ興味のあるテーマを設定して、それについて個人ベースでより深く学んでいきます。現在のゼミ生のテーマとしては「インドの経済」「資源の呪い」「異文化マネジメント」「国際人的資源管理」「中所得国の罠」などがあります。夏の海外合宿に向けて、事前勉強も行います。

3) 演習ⅢA・B（4年生）

3年生の内容に加えて、各自の研究テーマに沿った卒業論文を完成させます。

・毎年、春には国内で交流合宿、3年と4年は海外で夏合宿を行います。夏合宿では企業に訪問して工場など現地の活動を見学させていただきます。2024年はインドネシアに行きました。2025年はインドに行く予定です。

・OBOG会を毎年開催し、就職や今後に役立つ貴重なお話を伺うことができます。

5. 年間予算

実費はテキスト代（個人により異なります）、月数回の飲み会、春と夏の合宿代ですが、年度によってばらつきがあります。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・途上国の過剰人口の正体：出生率抑制の検証と展望
- ・ラテンアメリカ経済と中所得国の罠：「東アジアの奇跡」から学ぶ経済発展
- ・CSR におけるマーケティング的視点の必要性：経済的価値をもたらす CSR とは
- ・日本の観光産業と欧州観光客誘致：インバウンド・ツーリズム・マーケティングの観点から
- ・日本企業のアフリカ進出：市場創造型イノベーションの可能性

7. 自由記述

- ・「少人数で集中して楽しくゼミをしたい！」という人にかなりお薦めできます。私もそのような思いで志望しましたが十二分に満足して、楽しく活動しています。
- ・夏合宿で企業訪問を行ったことは、就職活動のガクチカでものすごく役立つことを実感しています。
- ・気になる方は是非ゼミ見学や個別相談ブースに遊びに来てください！お待ちしております！



(24 年度の海外合宿：インドネシアでの①ご飯、②企業訪問時工場見学の様子)

細谷ゼミ

研究テーマ：マクロ経済と日本経済の理論・実証研究

マクロ経済学を中心に経済学分野を幅広く学んでいきます。その中でも、特に長期を対象とした経済成長の理論分析と実証分析に焦点を当てて学びます。加えて、日本の長期的経済動向に重大な影響を及ぼしてくる社会保障問題についても取り上げています。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ゼミ生には友好的な方々が多い
- 主体的に授業に参加しやすい
- 授業は落ち着いた雰囲気
- コンパ等を通して、横だけではなく縦の繋がりもある（回数は適度）

担当教員について：細谷 圭 教授

専 門 分 野：マクロ経済学、公共経済学、計量経済学、ミクロ経済学、日本経済論、社会保障論、COVID-19 研究

生徒と話すこと、関わることに積極的

わからないことやもっと知りたいことについて、一緒になって考えてくださいます

様々な手段で情報の発信・共有をしてくださいます

ゼミの中で一番のお喋りさんで、授業内外を問わず、その場を明るくしてくださいます

2. ゼミの志望動機

- マクロ経済を学んでいく中で、実際のマクロ経済の構造に興味を抱いた
- 物価や賃金の関係性などの、身近な経済的事柄に興味があり、理解を深めたかった
- 研究テーマに具体性を抱けていなかったが、研究範囲が多岐に渡るため
- 興味のある研究テーマのゼミ募集がなかったが、当ゼミでは研究テーマに寛容であった

3. -1 ゼミに入って感じたこと

- 人数が極端に多くないので授業に生徒が主体的に取り組める
- 疑問や質問をその場で先生に問うことができる
- プレゼン力が身につく

-2 こんな人にオススメ

- マクロ経済や社会保障、身近な経済現象に興味がある
- まだ興味のある研究テーマが定まっていない
- プレゼン力を向上させたい
- 大人数での授業や発表が苦手な人

4. 年間予算

教科書代としては年間で 3,000 円程度（英文テキストは先生が用意するため費用はかからない）
コロナ禍でしばらく合宿を行っていないが、行う際は年間で 1～2 万円程度

5. 年間スケジュール

演習Ⅰ(2年後期): 日本経済論・統計学・社会保障論等の基本文献(日本語)の輪読

担当箇所を個人作業で要約や解説等を施し、授業時にパワーポイント(レジュメ)を用いて内容報告行う。

演習ⅡA・B(3年): 中級マクロ経済学の世界的に著名な英文テキストの輪読

担当箇所のテキスト翻訳と内容の要約や解説等をペアやグループで協力して作成し、授業時にパワーポイント(レジュメ)を用いて内容報告を行う。(人数の少ない学年は個人での作業)

演習ⅢA・B(4年): 卒業研究

卒業論文の作成に当たり、自身のテーマに沿った卒業研究を個人で行う。

6. 歴代卒業論文のテーマ

- 「個人投資の増加が日本経済に与える影響」
- 「人間の意思決定と将来について」
- 「日本の医療費増における諸問題を診療報酬の観点から考える」
- 「e-sports が及ぼす経済効果について」
- 「移民の受け入れによる日本経済への影響」
- 「ジェンダーギャップとこれからの日本経済」 など

7. 自由記載

マクロ経済、日本経済等を中心に経済分野に関する事柄について幅広く学ぶことができます。マクロ経済学や日本経済論に興味がある方はもちろん、日常の中にある経済的現象についても多く触れるので、興味のある分野がまだはっきりとしていない方にも向いています。いずれ、経済理論や実証分析が学びやすい環境だと思います。ぜひ、話を聞きに来てください。



水無田ゼミ

研究テーマ：社会科学

このゼミではジェンダーやダイバーシティを中心とした社会科学の研究を行っている。また時代の変化によって広告や映画、漫画の描写がどういう風になっ変わっていつているのかを学ぶ事ができる。消費行動論や異文化についての内容も扱うため、幅広い知識を身につける事ができる。

1. ゼミ生やゼミの特徴

- ・主体的となつて物事を考える子が多く、自分の意見を持って発表できる子が多い！
- ・落ち着いてる子が多く、真面目に研究に取り組む子が多い！
- ・知識が豊富な子が多く面白い！
- ・社会の幅広いテーマや問題を扱うため、知識が豊富になり、世の中に役に立つ事が多く学べる！
- ・ダイバーシティやジェンダーに関する知識を専門的に学ぶ事ができ、どうしたら多種多様な人々が共存できるかディベートなどを通じて学ぶ事ができる！
- ・音楽や映画などのサブカルチャーについても触れるため、卒論テーマを自由に書く事ができる！
- ・社会科学を専門とする先生のもとで正しい知見を得る事ができ、社会全体を面白い視点で捉える事ができるようになる！

2. ゼミ生から聞いた志望動機

- ・社会科学を専門とする先生のもとで自分の知識を広げられると思ったから。
- ・卒論のテーマを比較的自由に書けるから。
- ・近年のジェンダー意識の高まりの影響もあつてゼミの扱う分野に興味があり、ゼミに入ってジェンダーや多様性の歴史や問題について詳しく学びたいと思ったから。
- ・社会科学の幅広い分野を学ぶため、卒論テーマの選択肢が広がると思ったから。
- ・ジェンダー平等が近年掲げられているが、本当に女性と男性で格差がないのかを専門的に学びたかったから。

3. ゼミに入つて感じた事

- ・人前で話す機会が多く、発表する力が付いた。
- ・普通の授業と違って進め方が違つたり、課外ワークがあつたりで新鮮だった。
- ・最初は、ジェンダーやダイバーシティに関して表面的な部分でしか捉えられなかつたけど、社会科学を専門とする先生から学ぶ事で、それらの根本的な部分について理解出来るようになった。
- ・自分の意見をしっかりと持つことの大切さを実感した。
- ・他のメンバーの視点が新鮮で、毎回のディスカッションが刺激になる。

4.年間スケジュール

1. 演習Ⅰ(2年後期)

- ・カルチュラルスタディーズや消費社会論の基礎知識を身につける。毎回の授業で先生が講義を行った後に、その内容についてディベートを行う。
- ・テキスト読解を行い、担当ページごとに司会、タイムキーパーを決めて討論を行う。

2. 演習ⅡA・B(3年生)

- ・アカデミック・ライティングの基礎を学び、その後ワークショップ形式のクリエイティブライティングを行う。
- ・ゼミ論テーマを決定し、報告を行う。ゼミ論報告ターンでは、報告者、討論者、座長を定め学会報告形式で報告を行う。

3. 演習ⅢA・B(4年生)

- ・ゼミ論をベースにした卒論を書き上げ、卒論の内容について報告を行う。
- 1月初頭に卒論を提出する。

5. 年間予算

フィールド実習 交通費 映画料金(1,500 円)

教材代 多様な社会はなぜ難しいのか(約 1,500 円)

年度によって違うとは思いますが、およそ 5,000 円となっております。

6. 歴代の卒論テーマ

- ・インターネットがもたらした人間の攻撃性についての一考察
～コミュニケーションの変容を軸に～
- ・広告の社会的影響力の考察
- ・コロナ禍における音楽ライブ消費市場の変化についての考察
～配信ライブの増加と今後の見通しを軸に～
- ・日本人が韓流文化に熱狂する要因とは
～日韓市場やマーケティング戦略から探る～
- ・日本の空き家問題の検証
- ・流行が生み出す消費活動の変化

7. 自由記述

水無田ゼミでは、通常の授業と違って生徒が主体となって取り組むため、人前で発表する力がかかり付きます。ディベートでは、他のゼミ生からの数多くの異なる意見を聞けるため、自分が持っていない考え、価値観を知れて勉強になる部分がたくさんあります。

また現在問題意識が高まっているジェンダー問題や異文化問題、消費行動論をテーマとして取り扱うため、社会的実用性があるものを多く学べるゼミとなっています。

社会科学に対して興味がある学生は、大歓迎です。

宮下ゼミ

◆研究テーマ：『新しい時代のマーケティング』

国内外の企業のマーケティングや消費について学んでいます。現代社会の課題やトレンドそして顧客について理解を深めながらマーケティングについて学んでいきます。普段の授業でマーケティングについての基礎知識をインプットし、アウトプットの場として、2,3年生の時には、ビジネスコンテストにも出場します！！また、『日経 MJ』（日経新聞が発行しているマーケティング専門の新聞）の購読を通して、実際にいま起きていることを理解することで、さらにマーケティングの知識が身に付きます。

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・一言でいうと

ゼミ生同士が協力し合って成長していけるゼミ

- ・ゼミ生について思うこと

明るく積極的に授業に参加する子が多い

- ・先生について思うこと

マーケティングの先生で相談に行くと的確なアドバイスをしてくれる親しみやすい先生

- ・普段の活動風景等

普段からグループワークが中心です！チーム一丸となり、一つの課題に取り組みます。短期間で完成させることが多いため、難しいこともたくさんありますが、グループのメンバーと切磋琢磨しながら行います。ゼミ活動を通して、お互いのいいところを吸収し、自らの成長につなげられます！また、グループワークが基本となるため、主体性や協調性を磨くことができます。



2. ゼミの志望動機

・マーケティングを学びたい！

将来、マーケティングを使った仕事に就きたいと考えていたため志望しました。宮下ゼミでは、知識をインプットするだけでなく、外部のビジネスコンテストを通した実践的なマーケティングを学ぶことができるため、このゼミで学んでみたいと思いました。

・仲間とともに成長したい！

宮下ゼミには毎年、目標や向上心をもった学生が集まってきます。その学生たちと交流し、お互いに切磋琢磨することで、自身の刺激となり、人として成長することができます。

・卒業生が多い！

私たちの代は11期で、すでに200名以上の卒業生がいます。さまざまな業界に就職している先輩方とお会いする機会や就職相談の機会があると聞き、興味を持ちました。

3. ゼミに入って感じたこと

- ・ゼミの仲間から多くの刺激を得ることができる
- ・グループワークを通じて、自分にはない考え方や視点を学ぶことができる
- ・人前で話す力が磨かれる

⇒マーケティングに興味がある人、自分の考えを広げたい人、好奇心旺盛な人、話すことが好きな人にオススメです！人前で話すことが苦手でも、機会が増えることで徐々に慣れて成長を感じることができると思います！

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・経済学部内の他のゼミとの交流プレゼン大会
- ・外部ビジネスコンテストへの参加

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・「日経MJ」の購読
- ・外部のビジネスコンテストへの参加
- ・マーケティング検定の勉強

3) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文の執筆
- ・日経MJを用いた発表
- ・ゼミの後輩に向けた就職活動の報告会

5. 年間予算

約 2 万円程度

(日経 MJ 新聞の定期購読と書籍購入等)

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・小売業のマーチャンドライジングに関する研究
- ・SNS マーケティングと消費者の購買行動に関する研究
- ・GAFA の成功要因に関する研究 ・推し活を用いたマーケティングに関する研究
- ・行動経済学が消費者の購買行動に与える影響
- ・韓国アイドルからみるファンマーケティングに関する研究
- ・メディア視聴の変化からみるマスメディアの未来
- ・スポーツを通じたブランディングが 組織に与える影響

7. 自由記述

先生からの指導と仲間とのグループワークによって、多面的な能力を鍛えられるゼミです。当事者意識と成長意識を持つことによって、大きく成長することができることを実感できます。また、ゼミの中にはマーケティングのセンス や能力を磨き、将来はマーケティングを仕事にしたい学生が集まっています。ゼミにのぞむ姿勢に関しては、先生は厳しいです。マーケティングの専門性を高める前に社会人としてのマナーや心構えも身に付けることができます。みなさんとゼミで一緒にできることを楽しみにしています。みなさんの応募をお待ちしております！



山本ゼミ

◆研究テーマ：経済地理学

地域の観光・交通・コミュニティなど、幅広い分野の研究ができます

1. ゼミ生から見たゼミの特徴

- ひと言でいうと
 - 自分が興味ある地域の課題や政策について、とことん研究する
- ゼミ生について思うこと
 - まじめな方が多い印象です
 - 落ち着いた雰囲気で、各々の研究に取り組んでいます
- 先生について思うこと
 - 論文執筆に関して真摯に対応してくださります
 - 参考文献や調査の視点など、様々な情報をご教授頂ける

2. ゼミの志望動機

- ・地域経済や地域コミュニティなどに興味がありました
- ・「地域と都市の経済」や「地域政策」の講義を受講する中で、地域の発展や経済政策について理解を深めたいと思い、志望した
- ・ゼミの活動スタイルが自分に合うと感じた
- ・地方創生や空き家問題などの、地域の課題について興味があったから

3. ゼミに入って感じたこと

- ・経済地理に興味がある、卒業論文執筆に対して不安を感じている人におすすめです
- ・少しでも地域経済に興味があれば、深掘りして卒論にできるのでお勧めです
- ・他学年のゼミ生とも関わりがあるため、卒論に対するイメージが湧きやすい
- ・個人でテーマを選定して活動を行うため、自身が興味のあることをとことん追求できる

4. 年間スケジュール

1) 演習Ⅰ（2年後期）

- ・ゼミのテーマである経済地理学について理解を深めるため、指定された学術雑誌から論文を読み、用語や調査手法についての知識を蓄えます。
- ・読んだ論文の要点をまとめたうえで、レジュメ・パワポを作成して発表します。質疑応答・講評をしてもらい、今後の課題点や自らの見解についても理解を深めます。

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・各自が卒業論文のテーマを決定し、本格的な執筆に着手し始めます。授業日には進捗状況を報告し、先生からの指導やコメントを受けながら研究を進めます。
- ・2年生の論文発表時の司会やサポート役を務め、後輩たちの学びをサポートします。

3) 演習ⅢA・B (4年生)

- ・就職活動と並行しながら、各自で調査対象地域に赴き、アンケートやインタビュー調査を実施して、情報収集を行います。
- ・通常の授業時は3年生の時と同じように、先生からの指導・コメントを受けながら、データの分析や考察についての理解を深め、卒業論文の完成に向けて取り組みました。

5. 年間予算

- ・教科書は使用しないため、テキスト代等はありません。
- ・アンケートやインタビューの為に現地へ行く人は、宿泊費や交通費が主な費用となります。

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・豪華夜行バスの増加とその利用実態
- ・鎌倉市のオーバーツーリズムについて
- ・地域コミュニティの多層化—緑園都市地域を例に—
- ・地方商店街に対する人々の意識 —蔵の街 2024 サマーフェスタを事例として—
- ・大都市郊外地域における世帯形態と食習慣の関連 —埼玉県富士見市を事例としての子ども食堂参加者を事例として—
- ・オーバーツーリズムによる混雑緩和を目指した新たな交通機関の樹立に向けてシェアサイクリングが果たす役割—京都府京都市を事例に—
- ・箱根ジオパークと地域の関わり
- ・遺跡による地域振興—登呂遺跡を事例として—
- ・少子高齢化が進んでいる地域における交通弱者への交通支援の現状 —埼玉県鴻巣市を事例として—



7. 自由記述

落ち着いた雰囲気の中、自分の興味に合わせてテーマを決め、じっくり研究できるのが山本ゼミの魅力です。

最初は発表や論文に不安もあると思いますが、先生や先輩がサポートしてくれるので心配いりません。

少しでも興味がある方は、ぜひ相談・見学にお越しください！

吉野ゼミ

「『演習Ⅰ』（ゼミ）募集要項」をご覧ください。

経済学会学生委員会



冊子作成者

ゼミ個別ブース相談会担当

長野 拓真